

様式第10-1号
日本語教育課程の概要

教育課程の名称	留学 のための課程		大学・専門学校進学2年課程		
設置目的・経緯	日本語能力A1 (JLPT N5程度)相当以上の方が、2年間で日本語教育や日本文化を学びながら、総合的なコミュニケーション能力を培う課程です。 本課程では日本で進学する学生を支援するとともに、日本社会で円滑に生活し、共生社会を目指すようサポートします。そのために、地域住民との異文化交流などを通して、自己実現をはかり日本社会の発展に貢献し、日本と世界とを繋ぐ架け橋となる人材を育成することを目的としています。				
主たる対象	日本での就職（在留資格：技術・人文知識・国際業務）を叶えるために、我が国の大学・専門学校等の高等教育機関に進学を志望する留学生を中心に5つの言語活動に配慮しながら、卒業後も自律的学習が継続できる者を対象とする。				
教育課程の到達目標	進学を希望する専門分野への円滑な接続を目指すために、必要となる言語的な知識や技能に加え、自らが取り巻く社会や話題に興味、関心を持ち、情報の適切な取扱選択ができる。自律的学習ができ、日本語を使って様々な課題を解決することができる。議論も含め、ある程度、具体的・抽象的な話題での複雑なテクストの主要な内容を理解できる。またお互い緊張しないで熟達した日本語話者と自然にやりとりができる。ある程度広汎な範囲の話題についても不自然なく明確で詳細なテクストを作ることができ、様々な選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。他者の感性や考え方につれ、刺激しあう中で協働的に学習できる。				
日本語能力の到達目標	B2				
言語活動ごとの到達目標	聞く B2	読む B2	話す（やり取り） B2	話す（発表） B2	書く B2
修業期間	2年				
総学習時間	1600単位時間	※認定日本語教育機関認定基準第20条第2項（日本語教育課程以外の科目の履修）に該当	—	左記に該当する場合、総学習時間のうち、日本語教育課程以外の科目の学習時間	
総授業週数	80週				
1日あたりの授業時間	4単位時間/日 (1単位時間=45分)				
1週あたりの授業時間数	20単位時間/週 (1週=5日)				
成績・修了要件	<p>(成績) 前期・後期の二期制で対応。各レベル、授業科目ごとにA（秀）B（優）C（良）D（可）E（不可）の5段階とする。各科目の評価項目並びに成績は様式10-2にある通り。形成的評価は、単元テスト、アチーブメントテストは各100点満点（A～90:B～80:C～70:D～60:E59～・評価スコアは素点平均）パフォーマンステストは（A5:B4:C3:D2:E1・評価スコアは各×20）提出物は回数%とする。熟達度は各レベルの模試素点（A～80:B～60:C～40:D～20:E19～・評価スコアはA100,B80,C60,D40,E20） (修了要件) 成績評価：「評価 D（可）」以上の評価のある者 (科目内に一つでも成績Eがある場合、再テストを実施し、合格すれば修了とする。) 出席状況：80%以上の出席の者 (出席率が80%未満の場合、補習に出席し、課題提出があれば修了とする。)</p>				

日本語教育課程のレベル設定の概要

参照枠	レベル設定	到達目標 (Can do)	クラス数	1週あたりの授業時間数	期間 (月数・週数)	合計授業時間数
A1	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人情報について、質問したり、答えたりできる。もしゅっくり、はっきりと話して、助け船をだしてくれるなら簡単なやりとりをすることができる。短い簡単なテクストを一つずつ取り上げて、必要に応じ、読み直しながら一文一節ずつ理解することができる。簡単な表現や文を単独に書くことができる。	2 クラス	20単位時間	6か月14週	280単位時間
A2	A2	ごく基本的な個人情報、買い物、近所、仕事など直接的関係がある領域に関する、よく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について情報交換に応じることができる。非常によく使われる日常的な言葉や具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテクストが理解できる。人物や日常の簡単なこと好き嫌いなど単純な記述やプレゼンテーションができる。簡単な表現や文をかくことができる。	2 クラス	20単位時間	6か月22週	440単位時間
B1	B1	仕事、学校、娯楽でふだん合うような身近な話題について主要点をある程度理解できる。身近で個人的に関心のある話題についてある程度脈絡のあるテクストを作ることができます。必要な情報を見つけるために長いテクストにざっと目を通し、特定の課題遂行のための情報を収集できる。	2 クラス	20単位時間	6か月22週	440単位時間
B2	B2	進学を希望する分野も含め、抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な部分は理解できる。お互いに緊張しないで熟達した日本語話者とやりとりができる。自分の関心のある分野に関連した広範囲の話題について明確にある程度詳しく述べることができる。いろいろな情報や議論をまとめて評価した上で明瞭で詳細なテクストを書くことができる。	2 クラス	20単位時間	6か月22週	440単位時間
			合計	24か月 80週	1600単位時間	